

こたえ 日本の気候

ひょうじゅん
標準 ①

日本の気候

日本は、南北に細長く、まん中に高い山脈が連なっています。そのため、同じ季節でも、地域によって、気候が大きくちがいます。また、多くの地域では、春・夏・秋・冬の四つの季節の変化がはっきりしています。

冬になると、大陸のほうから、つめたい北西の季節風がふいてきます。この風は、日本海をわたる間に、海から水蒸気をたっぷりふくみます。そして、日本の山脈にぶつくと、上へのぼって雲をつくり、日本海側に、たくさんの雪をふらせま

す。そのため、冬の太平洋側では、晴れの日が多くなるのです。

反対に、夏には、太平洋のほうから、しめった南東の季節風がふいてきます。そのため、夏の太平洋側では、雨が多くなります。

日本海側の雪は、春になるとけて、豊かな水となり、田畑をうるおします。このように、季節風と山脈が、日本の気候に大きな影響をあたえているのです。

1 冬に大陸のほうからふいてくる季節風は、どちらからふきますか。

ア 北西

イ 南東

ウ 南西

2 冬の日本海側に、たくさんの雪がふるのはどうしてですか。

日本海で水蒸気をふくんだ季節風が、山脈にぶつかって雲をつくるから。

3 冬の太平洋側で多いのは、どんな天気の日ですか。

晴れの日

4 この文章で、日本の気候に大きな影響をあたえているとされているものは、季節風と何ですか。

季節風と山脈

おうちの方へ

- 地図帳で山脈の位置をたしかめながら読むと、季節風の流れがイメージしやすくなります。